

第11回
NTTグループ
全国空手道選手権大会

日時 平成18年11月4日（土） AM8:30～PM6:00

場所 工学院大学アトリウム（本館1F）

主催 NTT空手道連盟

主管 NTT東京空手道部

NTTデータ空手道部

NTT通研空手道部

ごあいさつ



NTTグループ空手道連盟

会長 大木 一夫

NTTグループの空手道愛好家の皆様のご賛同とご協力のもとに、「第11回NTTグループ全国空手道選手権大会」を開催できることを、心よりお慶び申し上げます。

空手道は、日本の伝統文化としての精神性と、また老若男女を問わず誰でもできる近代スポーツとしての要素を兼ね備えた競技であります。技のもつ魅力もさることながら、身体の鍛錬と心・人格の涵養に重きをおいており、健全な人間形成に大きく貢献しているところであります。

本連盟は平成7年7月にNTT空手道連盟として設立して以来、今年で11年目を迎えることとなりました。その間、地域の空手道愛好家の発掘に努め、平成14年11月にはNTTグループ空手道連盟と名称を改めて、NTTグループの全国各地の空手道愛好家の集う場所として、技の鍛錬と空手を通じた交流に寄与してきているところです。また、空手道を通じて知り合った会員同士が日々の業務においても各所属組織の強みを活かしつつ互いに連携し、NTTグループ各社の発展に努めています。

本大会においても、日頃から切磋琢磨した空手道の技と精神力を遺憾なく発揮しあうとともに、会員相互の交流を深めて頂きたいと思います。また、NTTグループおよび関連会社の空手道愛好家の方々の参加のもと、今後さらに本連盟が発展していくことを心よりお祈りいたします。

おわりに、このたびの第11回NTTグループ全国空手道選手権大会の開催に際しまして、ご支援、ご協力頂きました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、本大会が皆様のご健闘により実り多き大会となりますよう心より祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

大 会 役 員

大 会 会 長	大木 一夫	(NTT東日本 副社長)
大 会 副 会 長	星野 肇夫	(NTTエレクトロニクス)
実 行 委 員 長	高野 誠	(通研)
実 行 副 委 員 長	石原 肇	(東海)
実 行 委 員	茶谷 繁	(東京)
実 行 委 員	佐藤 慎一	(データ)
実 行 委 員	中嶋 晋二	(関西)
実 行 委 員	奥野 隆久	(関西)
実 行 委 員	山角 修一	(鹿児島)
実 行 委 員	篠原 一夫	(四国)
大 会 幹 事	前大道 浩之	(通研)
大 会 幹 事	田中 勝志	(東京)

審 判 団

大会監査役	小野 勇	(東京)
大会監査役	山崎 尊則	(東京)
大会監査役	浅谷 耕一	(通研)
大会審判長	森田 稔	(東京)
副 審 判 長	奥野 紀美子	(関西)
審 判 員	石原 肇	(東海)
審 判 員	奥野 隆久	(関西)
審 判 員	山角 修一	(鹿児島)
審 判 員	山本 了清	(通研)
審 判 員	高野 誠	(通研)
審 判 員	原 元一	(東京)
審 判 員	藤田 拓	(データ)
審 判 員	茶谷 繁	(東京)
審 判 員	山口 澄	(東京)
審 判 員	秋永 弘	(東京)
審 判 員	田中 康雄	(東京)
審 判 員	木村 諭	(東京)
審 判 員	前田 英也	(関西)
審 判 員	加来 慎一	(通研)
審 判 員	佐藤 慎一	(データ)

大 会 次 第

大会プログラム(1／2)

第一部 開会式

1. 選手入場
2. 開会の辞 大会実行委員長 高野 誠
3. 国旗掲揚
4. 大会会長挨拶 大会会長 大木 一夫 (NTT東日本副社長)
5. 来賓祝辞
6. 優勝杯の返還
7. 選手宣誓 データ空手道部、工学院大学古武術部 望月 雅人、杉本 武之
8. 審判注意 大会審判長 森田 稔
9. 選手退場

第二部 試合

1. 個人形試合
 - 有級の部 予選なし決勝
 - シニアの部 予選なし決勝
 - 有段の部 予選なし決勝
2. 組手試合
 - 有級の部組手 1回戦～準決勝 3位決定戦
 - シニアの部組手 1回戦～準決勝 3位決定戦
 - 有段の部組手 1回戦～準決勝 3位決定戦

第三部 演武

- 演武
- 四国空手道部
 - 鹿児島空手道部
 - 通研空手道部
 - 東京空手道部
 - 工学院大学古武術部
 - データ空手道部

大会プログラム(2/2)

第四部 試合組手決勝

女子の部組手	1回戦～3位決定戦、決勝戦
有級の部組手	決勝戦
シニアの部組手	決勝戦
有段の部組手	決勝戦
団体組手	1回戦～決勝戦

第五部 閉会式

1. 役員・選手整列
2. 表彰
 - 有級の部個人形 優勝・準優勝・3位
 - シニアの部個人形 優勝・準優勝・3位
 - 有段の部個人形 優勝・準優勝・3位
 - 女子の部組手 優勝・準優勝・3位
 - 有級の部組手 優勝・準優勝・3位
 - シニアの部組手 優勝・準優勝・3位
 - 有段の部組手 優勝・準優勝・3位
 - 団体組手 優勝・準優勝・3位
3. 国旗掲揚
4. 大会講評 大会監査役 浅谷 耕一
5. 閉会の辞 大会実行副委員長 石原 肇

個人形試合

有級の部

No	氏名	所属	得点
1	山口 太地	工学院	
2	山邊 貴広	工学院	
3	信濃小路 光	工学院	
4	大森 雄太	工学院	
5	増田 由美	ドコモサービス関西	
6	植栗 仁	工学院	
7	塚越 安己美	ドコモサービス関西	
8	青野 貴行	工学院	
9	吉田 幸恵	ドコモサービス関西	
10	菱沼 憲司	工学院	
11	常本 万里子	ドコモサービス関西	
12	貫名 章夫	工学院	
13	宮野 晋平	工学院	
14	伊藤 潤	工学院	
15	平野 良周	工学院	
16	佐藤 洋志	工学院	
17	川人 直樹	工学院	
18	中村 哲也	工学院	
19	原 謙治	通研	
20	高橋 雄一	工学院	
21	加藤 千佳	工学院	
22	森 隆幸	工学院	
23	長谷部 渉	工学院	
24	武井 香	通研	
25	梶原 皓太	工学院	
26	石島 姿子	通研	
27	下山 隆	データ	

個人形試合

シニアの部

No	氏名	所属	得点
1	田中 種穂	東京	
2	竹原 英樹	東京	
3	篠原 一夫	四国	
4	山本 吉文	東京	
5	田中 康雄	東京	
6	山口 澄	東京	
7	茶谷 繁	東京	
8	永坂 和春	東京	
9	高野 誠	通研	
10	石原 肇	東海	
11	長崎 浩一	関西	
12	秋永 弘	東京	
13	原 元一	東京	
14	山角 修一	鹿児島	

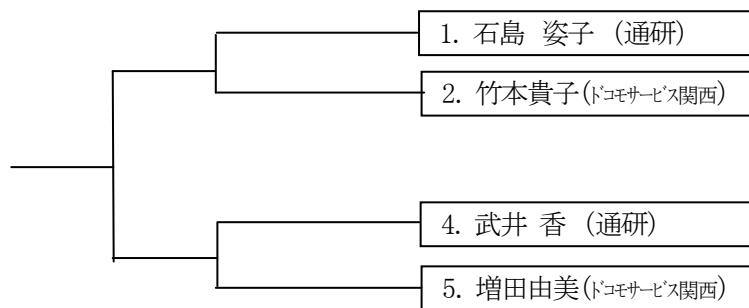
個 人 形 試 合

有段の部

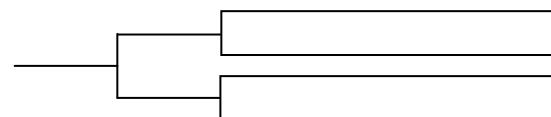
No	氏 名	所 属	得 点
1	和田 達也	工学院	
2	金子 東雲	データ	
3	永井 慎介	工学院	
4	小林 昌雄	データ	
5	清水 祐亮	工学院	
6	山本 哲也	データ	
7	杉本 武之	工学院	
8	田中 勝志	東 京	
9	水野 伸太郎	通 研	
10	木村 諭	東 京	
11	前大道 浩之	通 研	
12	佐藤 慎一	データ	
13	上川原 勉	東 京	
14	山角 雄一	鹿児島	
15	藤田 拓	データ	
16			

個人組手試合

女子の部

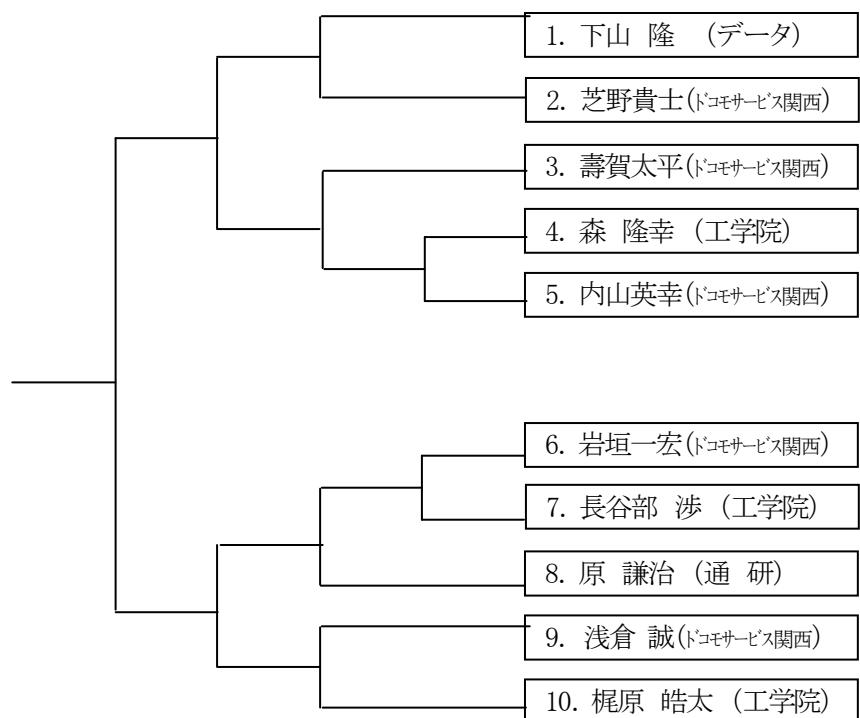


3位決定戦

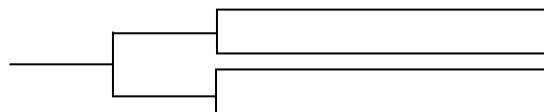


個人組手試合

有級の部

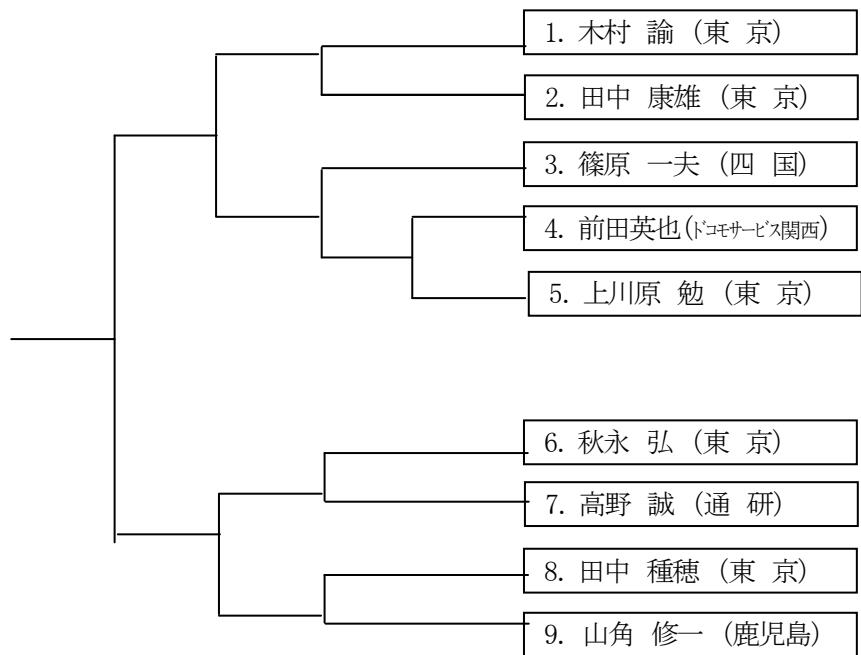


3位決定戦

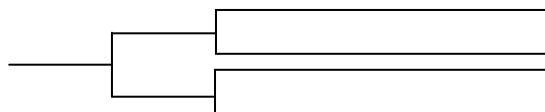


個人組手試合

シニアの部

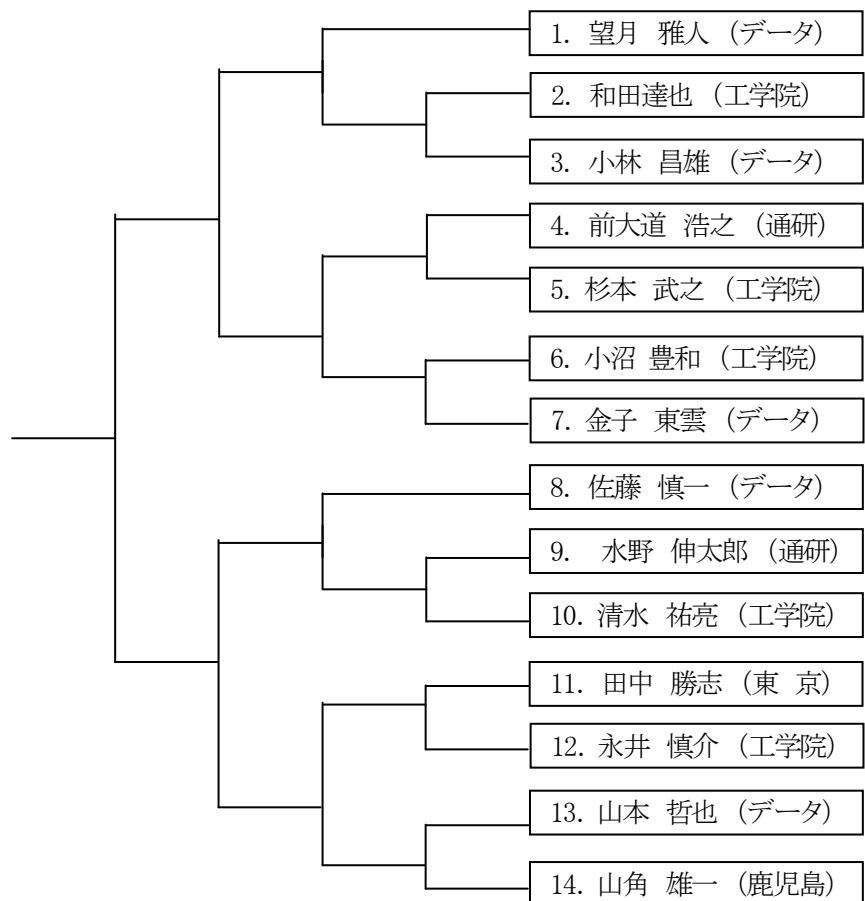


3位決定戦

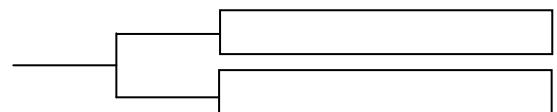


個人組手試合

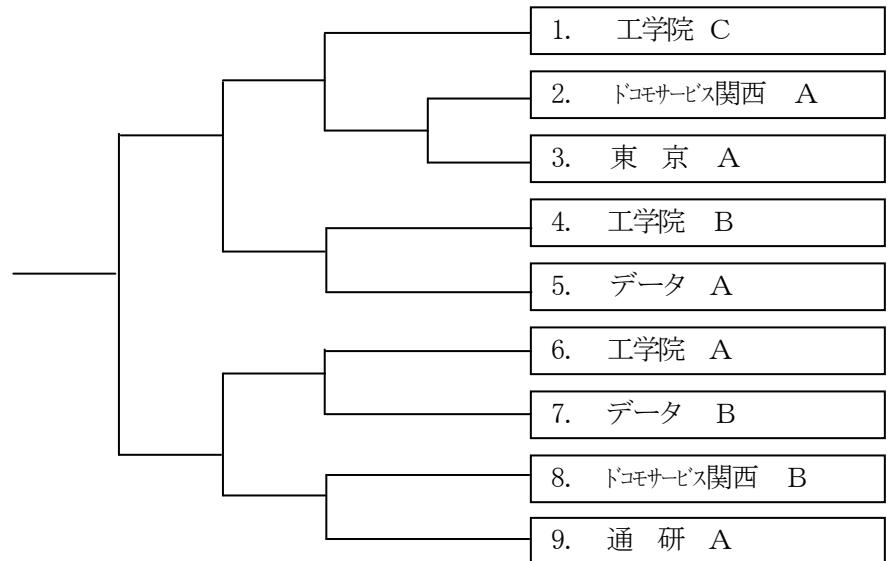
有段の部



3位決定戦



団体組手試合



工学院 A		
監督	清水祐亮	初段
大将	清水祐亮	初段
中堅	永井慎介	初段
先鋒	杉本武之	初段
補欠		
補欠		

工学院 B		
監督	梶原皓太	初段
大将	梶原皓太	初段
中堅	森隆幸	初段
先鋒	長谷部涉	初段
補欠		
補欠		

工学院 C		
監督	小川 智章	式段
大将	小川 智章	式段
中堅	小沼 豊和	初段
先鋒	和田達也	初段
補欠		
補欠		

ドコモサービス関西 A		
監督	竹本 貴子	
大将	山下 哲也	初段
中堅	内山 英幸	五級
先鋒	芝野 貴士	五級
補欠		
補欠		

ドコモサービス関西 B		
監督	竹本 貴子	
大将	岩垣 一宏	三級
中堅	浅倉 誠	六級
先鋒	壽賀 太平	
補欠		
補欠		

通研 A		
監督	前大道 浩之	式段
大将	前大道 浩之	式段
中堅	水野伸太郎	式段
先鋒	原 謙治	四級
補欠		
補欠		

データ A		
監督	佐藤 慎一	式段
大将	佐藤 慎一	式段
中堅	山本 哲也	初段
先鋒	望月 雅人	初段
補欠		
補欠		

データ B		
監督	小林 昌雄	初段
大将	小林 昌雄	初段
中堅	下山 隆	六級
先鋒	金子 東雲	式段
補欠		
補欠		

東京 A		
監督	秋永 弘	式段
大将	上川原 勉	四段
中堅	田中 勝志	初段
先鋒	森田 稔	參段
補欠	秋永 弘	式段
補欠		